

土砂災害ハザードマップとは・・・

急な斜面や裏山では、大雨の際、がけ崩れや土石流などの土砂災害が発生するおそれがあります。このハザードマップは、みなさんが住んでいる地区のなかで、土砂災害が発生した場合に危害を受けるおそれがある範囲や避難場所を示したものです。日頃から、自分が住んでいる土地、隣近所の土地、避難場所などを確認して、いざという時に適切な避難行動がとれるよう、ご家庭や職場などでお役立てください。

①土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう！

- 黄色 または 橙色 で囲まれた範囲（土砂災害警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域」です。
○赤色 で囲まれた範囲（土砂災害特別警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損傷が生じ住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域」です。
○土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨の時には警戒避難が必要となる可能性がありますので注意してください。
○土砂災害警戒区域以外の箇所でも、土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所をよく確認しましょう。

②雨が強くなったら、積極的に雨量情報、予報、警報等の情報を入手しましょう！

- まずはテレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。
○雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう。
○『土砂災害警戒情報』は、大雨により土砂災害の危険度が高まった時に気象台と長崎県が共同して発表する情報です。自主避難行動の目安としましょう。

- ・気象庁 長崎海洋気象台 電話(177)
・気象庁 インターネットアドレス (http://www.jma.go.jp/)
・長崎県河川砂防情報システムアドレス (http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/)



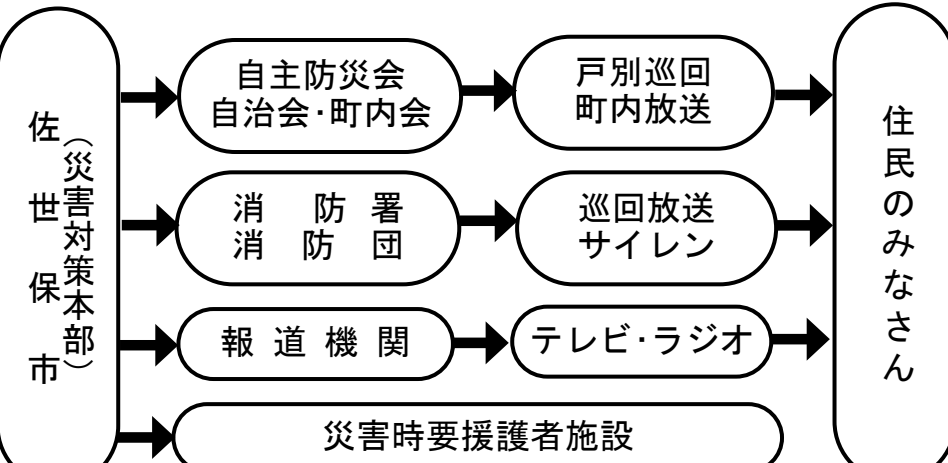
③周辺の斜面や溪流で、こんな前兆現象を見たら、聞いたら早めに自主的な避難を心がけましょう！

○がけ崩れの前兆現象
がけ崩れとは、長雨や集中豪雨等により、がけが急に崩れ落ちる現象。
・斜面から水が湧き出してくる
・斜面に亀裂が生じる
・小石がパラパラと落ちてくる
・斜面に膨らみがみられる

○土石流の前兆現象
土石流とは長雨や集中豪雨等により山や川の石や砂が水と一体となって一気に下流へ流れる現象。
・山鳴りがする
・雨が降り続けているのに谷川の水位が下がる
・谷川の水が急に濁り、流木が混ざる

④避難勧告などの連絡があったら、直ちに最寄の避難所に避難しましょう！

○避難勧告・避難指示(命令)は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



※避難勧告等が発表される前でも、前兆現象等により危険を感じたら、急いで避難してください。

Table with 3 columns: Item, Symbol, and Code. Lists hazard zones (警戒区域, 特別警戒区域), evacuation routes, and disaster relief facilities.

Table titled '避難所一覧' (Evacuation Sites List) with columns for Evacuation Site, Address, and Phone Number. Lists locations like Daikyo Civic Center and various schools.

※避難が必要な場合には避難所を開設しますが、平常時は開設していませんので、開設が必要な場合は連絡が必要となります。
※2 中里皆瀬地区公民館はこのマップの地域外となりますので、地図上に表示はありません。

Table titled '防災関係機関の連絡先' (Disaster-Related Organizations Contact Info) with columns for Organization Name, Phone Number, and Service Content. Lists agencies like the Fire Department, Police, and various public facilities.

このマップに関する問い合わせ先: 佐世保市役所 土木部 河川課 電話: 857-8585 佐世保市八幡町1番10号 TEL: 0956-24-1111 (代表)

